

平成24年12月28日

報道関係者各位

ニセコ冬の音楽祭実行委員会

担当 土屋 大介

(日本ハーモニー・リゾート株式会社 マーケティングマネージャー)

ニセコ 冬の音楽祭 Niseko Winter Music Festival

演奏：オーストラリア室内管弦楽団 (ACO)+ 大萩 康司

2013年1月12-14日



～ 世界最高峰の管弦楽団による三夜の夢のようなひと時 ～

毎年、大好評を博している「ニセコ冬の音楽祭」が、2013年もまたニセコで開催されます。4回目を迎える今回のツアーでも、オーストラリアの芸術監督リチャード・トネッティと、彼の率いるオーストラリア室内管弦楽団 (ACO) の演奏者たちが、世界トップクラスのパフォーマンスを披露します。音楽祭の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

1. 開催スケジュール

※演目は変更になることがあります

① HANAZONO308 「モーツァルト ヴァイオリン協奏曲第3番」

日時 ; 2013年1月12日 (土) 開場 18:30 開演 19:00

会場 ; HANAZONO 308 (席数 270)

出演者 ; ACO 9名 +大萩 康司 (クラシックギター) + ジョセフ・タワドロス (ウード)

演目 ; モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 第3番, ヴィバルディ: 夏 (四季より), ラモー: ダルダニユス他, タワドロス: オアシス, シューベルト: 弦楽四重奏曲 第14番 二短調 D810 「死と乙女」 他

② ニセコグラン・ヒラフ マウンテンセンター 「バッハ ミーツ デイヴィッド・ボウイ」

日時 ; 2013年1月13日 (日) 開場 20:00 開演 20:30

会場 ; ニセコグラン・ヒラフ マウンテンセンター (席数 120)

出演者 ; ACO 9名 +大萩 康司 (クラシックギター) + ジョセフ・タワドロス (ウード)

演目 ; バッハ: 小フーガ ト短調, ラヴェル: カッディーシュ, クラム: ブラック・エンジェルス, ウェーベルン: 5つの楽章, シーガー: 花はどこへ行った, ボウイ: 世界を売った男, タワドロス: ローズ 他

③ ヒルトンニセコビレッジ 「ヴィヴァルディとチャイコフスキー」

日時 ; 2013年1月14日 (月・祝)

会場 ; ヒルトンニセコビレッジ (席数 300)

時間 ; 開場 17:30 開演 18:00

出演者 ; ACO 9名 +大萩 康司 (クラシックギター) + ジョセフ・タワドロス (ウード)

演目 ; ガブリエリ: 第7旋法によるカンツォン 第1番, タワドロス: 作品, ヴィバルディ: 協奏曲, ピアソラ: タンゴの歴史, チャイコフスキー: フィレンツェの思い出 他

2. チケット販売について

- 料金 各コンサートとも 大人 3,000 円 小学生 2,000 円 (未就学のお子様はご入場できません)
- チケットは当日会場でお求めになれます。座席に限りがありますので、事前のご予約をお勧めします。
 - ご予約、お問い合わせは、エクスプロー・ニセコ (電話 0136-55-8848) まで。
- チケット購入サイトは、<http://www.explore-niseko.com/information/aco.php>

■第4回 ニセコ冬の音楽祭について

今回で、4 回目を迎える「ニセコ冬の音楽祭」はオーストラリア室内管弦楽団の芸術監督リチャード・トネッティ氏のニセコに対する情熱がスタートとなっています。かつてスキーヤーとしてニセコを訪れたトネッティ氏は、多くのスキーヤー、スノーボーダーと同様にニセコのパウダーに魅せられました。しかし、世界クラスのスキーリゾートでありながら、ヨーロッパや北米のスキーリゾートと比べて文化的な楽しみがまだ十分でないことに気がつき、自らの企画提案で 2010 年 1 月に第 1 回の音楽祭を開催したのが始まりです。

第 1 回のゲストは世界的なハープ奏者、吉野直子氏。第 2 回は、ベルリンフィルハーモニーの首席フルーティスト、エマニュエル・パユ氏、第 3 回は、日本を代表する若手ギタリストの大萩康司氏。そして第 4 回目の今回は、トネッティ氏をはじめ ACO メンバーの強い希望により、大萩氏が再び登場します。さらに、エジプト系オーストラリア人で気鋭の音楽家、ウード奏者のジョセフ・タワドロスの来日が決定しました。

ACO からは、トネッティ氏はもちろん、アシスタントリーダーでバイオリニストのサトゥー・ヴァンスカ氏、チェロのジュリアン・トンプソン氏、コントラバスのマキシム・ビボウ氏ほか総勢 9 名の演奏者がやってきます。

「クラシック界の一流アンサンブルとしての実力とロックバンド的エネルギーを併せ持つ」と評される ACO と、クラシックギターの本場中南米でも高い評価を得る大萩氏の情熱的なギター、そしてエキゾチックで情熱的なタワドロス氏の共演をお楽しみください。

■演奏者ご紹介

オーストラリア室内管弦楽団

1975 年、シドニーに創設される。最高レベルの演奏で世界中の聴衆を魅了しており、オーストラリア国内の定期会員は 1 万人を数える。レパートリーはクラシックの名作に限らず、革新的なクロスオーバー企画や精力的な新作プログラムまで、多岐にわたる。1989 年、オーストラリア人バイオリニストのリチャード・トネッティが芸術監督兼コンサートマスターに就任、以来トネッティのリーダーシップの下、ヨーロッパ、アメリカ、アジア諸国の主要ホールに出演、高い評価を獲得している。

また、チェリスト以外のメンバーは立って演奏するスタイルをとることにより舞台上から発散される活気や個性といった感覚が ACO のコンサートをより印象付ける結果へと導いている。

大萩 康司 (おおはぎ・やすじ)

日本を代表する若手ギタリスト。高校卒業後にフランスに渡り、パリのエコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院で学ぶ。1998 年、ギター国際コンクールとして世界最高峰とされるノバナ国際ギター・コンクールにて第 2 位及び審査員特別賞 (レオ・ブローウェル賞) を受賞。他にも世界各地で高い評価を得ている。

2000 年に CD デビュー。これまでに 11 枚の CD および 2 枚の DVD をリリース。ルネサンスから現代曲まで多彩なレパートリーを持ち、ソロから室内楽、協奏曲と幅広く取り組んでいる。第 6 回ホテルオークラ賞、第 18 回出光音楽賞受賞。宮崎県生まれ。

ジョセフ・タワドロス

エジプト系オーストラリア人ウード奏者。2011 年、シドニー・モーニング・ヘラルド紙による「今年もっとも影響力あった人々」の第 20 位に選ばれる。オーストラリアレコード産業協会 ARIA 賞の 9 つの賞にノミネートされ、うち 5 つを獲得。ライムライト賞受賞。クラシック音楽のためのフリードマン奨学金を最年少で獲得。アラブ世界でも認められ、2009 年にはダマスカス・ウード・フェスティバルの審査員をつとめ、2010 年には第一回イスタンブール・ウード・フェスティバルに出演した。

後援: 北海道後志総合振興局、倶知安町、ニセコ町

〈本件のお問い合わせ〉 ニセコ冬の音楽祭実行委員会事務局 担当 葛西奈津子

TEL 090-2056-2093 E-mail : natsu@nisekotourism.com